

令和4年度

恵那北小学校だより

2月20日号

# げんきたっ子



## 学びは宝物

校長 市川 伸美

今年度最後の授業参観日には、「学習発表会」を行いました。

1・2年生は、これまでの学習で学んだことやできるようになったことを発表し、1年間の宝物(成長)を見ていただきました。3年生以上は、総合的な学習の時間に学んだことを発表しました。

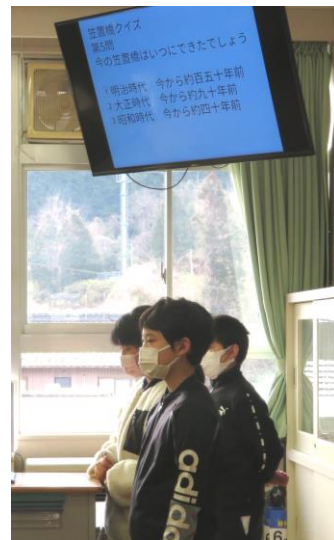


代表委員会を中心に全校で取り組んできた「学習したことを大きな声ではきはきと伝えよう」というスローガンに向けて、この1年間で学んだことを伝える姿は、どの学年の子供たちも堂々として大きく見えました。



恵那北小学校では、総合的な学習の時間に、3年生は「地域の宝物」、4年生は「福祉・環境」、5年生は「地域の産業」、6年生は「地域の歴史」を学習してきました。

久須見や笠置は、宝物の宝庫です。古くから人が暮らし、よりよい暮らしになるよう工夫されてきました。また美しい自然が残され、自然を生かした産業も盛んです。そして、それを引き継いで大事にしてきた人たちがいます。ふるさについて学ぶことで、子供たちはふるさとを愛し、誇りをもつようになりました。この学習を支えてくださった地域の皆様には感謝でいっぱいです。子供たちが、次の世代にふるさとのよさを伝えていくとき、この学びが宝物として生かされることと思います。



### ライオンズクラブより絵本の寄付



ライオンズクラブ様より、絵本を寄付していただきました。「ぼくが髪を伸ばすわけ」「わたしが夢をかなえたわけ」の2冊です。

相手の気持ちや、自分には何ができるかを考えることのできる内容です。図書館に入れたので、子供たちにぜひ読んでほしいと思っています。